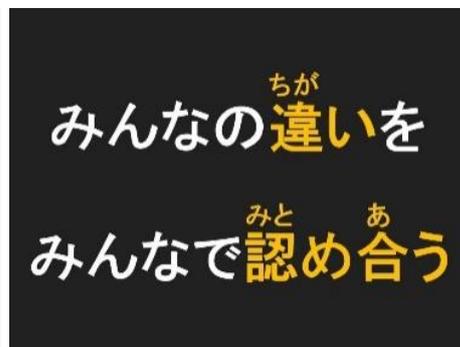




12月5日（月）人権週間における啓発行事等について

12月4日から12月10日は人権週間です。それを受け、人権を尊重する気持ちや姿勢につながる「親切・思いやり・友情・信頼」の内容を扱う道德の授業をしたり、「いじめ防止標語コンクール」や「人権を理解する作品コンクール」へ参加したりする計画がされています。こうした啓発行事の一つとして朝会で校長が「人権」の話をしました。

まず、40数年前の中学生（校長）の様子を示しました。当時の中学生は、制服だけではなく、体操服やジャージ、髪型や通学鞆に至るまで、男女で区別されていました。「男は男らしく、女は女らしく」と言った指導も当たり前のこととして行われていました。そして、令和4年となり、大府市では、次年度から新制服が導入されることが決まりました。ブレザータイプの制服は、機能面や寒暖差への対応だけではなく、多様性への対応を考えての導入です。男女に関係なく、スラックスかスカート、ネクタイかリボンを選ぶことができます。制服を変えれば課題が全て解決するわけではありませんが、こうした変化は40数年前に比べ、性的少数者への理解が進み、違いを認め合うことの大切さが意識されてのことです。



男らしさや女らしさではなく「自分らしさ」を大切に合わせる社会を作っていこう、という話でした。

ちなみに、総務委員が朝会で発表した今月の目標は、愛知県の人

権啓発のテーマでもあります。県では「わかるとかわる」といったメッセージを記載した人権啓発ポスターを作っています。ネットで「愛知県人権啓発ポスター」と検索すれば見られます。ポスターは、メインポスターに加え6枚の個別課題（女性の人権・障害者の人権・部落差別＜同和問題＞・外国人の人権・インターネットと人権・性的少数者の人権）のポスターがあります。毎年作られるこのポスターはとても分かりやすく人権の課題を示しています。ご家族でご覧になり、「人権」について話し合うきっかけにしてはいかがでしょうか。

HAC

～ 東山小児童会広報 ～ 12月5日（月）朝会にて

総務委員会

人権週間のテーマについて

今月の目標は「わかるとかわる 知ることからはじめよう 人権のこと」です。

12月4日から12月10日は人権週間です。自分は偏見も差別もしていないから、関係ない、そう思っている、気付かないうちに誰かの人権を傷付けているかもしれません。自分の周りにいる人たちを大切に、思いやりをもって生活しましょう。

校訓『なかよく かしこく まっすぐに』



◆受賞作品について◆

大府市読書感想画コンクール 佳作

〇年生 〇〇 〇〇さん 〇年生 〇〇 〇〇さん 〇年生 〇〇 〇〇さん

環境衛生週間ポスター 優秀賞 ※東部知多衛生組合

〇年生 〇〇 〇〇さん



◆給食費について（大府市教育委員会から）◆

食材費高騰の影響を受けている学校給食の食材費について、保護者の負担軽減を図るため、学校給食費を据置きとし、不足する食材費を公費で負担するための補正予算が計上され、11月30日の市議会で議決されました。期間は令和5年3月までで、1食当たり10円の増額分が公費でまかなわれます。

◆就学援助制度について（大府市教育委員会から）◆

大府市では、お子さんを小・中学校へ通学させるうえで、経済的に困りの保護者の方に対し、学用品費・学校給食費等を援助する事業を行っています。

＜援助を受けることができる方＞

- (1)生活保護を受けている方
- (2)次の基準のいずれかに該当する方で、生活保護に準ずる程度に困窮していると教育委員会が認めた方
 - ① 市民税の非課税、または減免世帯
 - ② 個人事業税、または固定資産税の減免世帯
 - ③ 国民年金の掛け金、または国民健康保険税の減免、もしくは徴収の猶予世帯
 - ④ 児童扶養手当の受給世帯（児童手当とは異なります）
 - ⑤ 生活保護法に基づく保護の停止、または廃止を受けた方
 - ⑥ 生活福祉資金の貸付を受けた方
 - ⑦ 失業対策事業適格者手帳を持っている、又は職業安定所登録日雇労働者の方
 - ⑧ 保護者の職業が不安定で生活状態が悪いと認められる方
 - ⑨ その他（上記以外の場合）

※ この制度についてのお問合せは各小中学校及び教育委員会学校教育課まで。

ココン東西

「こう見えても…」のフレーズで自分を語るときは、自分の見た目や年齢、性別などから、他者がつステレオタイプと差があると思われることを告白したり自慢したりするとき▼人権週間にあたり、朝会で多様性の尊重も変更理由の一つとする中学校の新制服を例に話をした。男女共に、上はブレザーで、下はスラックスかスカートを選択できる。固定的なイメージの男らしさや女らしさを押しつけるのではなく、その人その人の「自分らしさ」を尊重しようとする制服。新しくなるのは、服の形だけではなく、人権意識なのだ▼多様性が当たり前に尊重される社会は「こう見えても…」なんて言い回しが存在しない社会なのかもしれない。「こう見えても私は、ぬいぐるみが好きで、できれば持ち歩きたい」なんて気持ちは誰にも言っていない。恥ずかしくて言えないと思っている自分をまず変えなくては。